

## ～新たにスタートする岐阜県の事業～

### 大河ドラマ『麒麟がくる』を活用した地域の活性化

山県市ゆかりの戦国武将、明智光秀を主人公とした『麒麟がくる』が2020年大河ドラマに決まり、県内8市町で協議会を設立しPR等を実施します。2020年1月に大河ドラマ館をオープンする予定です。

### 来夏 全県立高校にエアコン設置

県内21校のエアコン未設置校に2019年6月末までにエアコン設置を進めていきます。

### SNSを活用した相談体制の構築

県内中学校・高等学校・特別支援学校の生徒を対象にSNSを活用した相談体制をスタートします。

### 糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施

岐阜県医師会と岐阜県糖尿病対策推進協議会により糖尿病性腎症重症化リスクの高い方への保健指導を実施し人工透析への移行阻止を目指す取組みが本格的にスタートします。

### 児童養護施設入所児童等の進学支援

児童養護施設に入所する高校生の学習支援と大学等に進学する際に必要な費用の支援がスタートします。

### 危機管理型水位計の設置

7月豪雨災害検証を踏まえて中小河川での避難支援のため洪水時に水位情報を配信する危機管理型水位計を市内4カ所に設置します。《しびり川：梅原地内／新川：高富地内／柿野川：柿野地内／神崎川：片原地内》

#### 《山県市内 各種事業が進みます》

道路建設事業	国道256号	高富バイパス西深瀬～伊佐美地内	1億4,000万円
	国道418号	富永地内	1億4,000万円
	国道418号	葛原地内(待避所)	400万円
道路舗装補修事業	国道256号	伊佐美地内	2,700万円
橋梁補修事業	国道418号	落合橋・橋ヶ谷橋	4,500万円
河川改修事業	武儀川	中洞地内(護岸工事)	2,400万円
	新川	東深瀬地内(護岸工事)	1,000万円
	神崎川	神崎地内(堰提工事)	1,600万円
林道復旧事業	日原・根尾・鯉尾・橋ヶ谷・万所 西洞～納谷・美山(7路線10カ所)		6,694万円
治山事業	柿野牛象(溪間工)		1,000万円
	大桑栢野(溪間工)		1,500万円

活動  
報告書  
No.17

# 挑戦

せずつして、  
未来が開けますか。

We have potentials

Potential  
安心も自立も挑戦の先にある

《2018年10月一般質問》

岐阜県議会議員 Onda Yoshiyuki

# 恩田よしゆき

岐阜県議会議員 恩田よしゆき事務所  
〒501-2104 岐阜県山県市東深瀬846-1  
TEL0581-32-9597 FAX0581-32-9598

HP 恩田よしゆき 検索



岐阜県議会議員 恩田よしゆき後援会 討議資料 No.17

# 岐阜県議会定例会

一般質問

## ネット依存・ゲーム障害に関する取組みについて

スマートフォン等の普及により、日常生活にも情報端末が欠かせないものとなっている一方で『ネット依存・ゲーム障害』が大きな課題ともなっております。

8月31日にインターネット依存に関する調査結果が発表され、全国の中高生の93万人が病的インターネット依存が疑われると発表されました。

ゲームという言葉から危険性が緩む気持ちになりますが、ゲームから得られる快楽は覚せい剤に匹敵するとの指摘もあり、薬物やアルコール、ギャンブルなどの依存症と同じく、コントロールする事が非常に困難で自分の意志では止める事ができないと言われています。

ネット依存・ゲーム障害では欲求を抑えられず他の日常生活よりもゲームを優先してしまい、寝食を忘れて没頭するケースもあります。睡眠時間が少なくなり暴力的になる他、昼夜が逆転し学校や職場の欠席、欠勤も増えて最終的には退学や退職に繋がりを引きこもりになるケースなどもあり、健康状態にも悪影響を与えうつ病などの合併症も報告されています。

海外では長時間オンラインゲームをやり続け死亡した事例もあり、16歳未満のユーザーに対しては、午前0時から午前6時までの間サービスを提供してはならない『シャットダウン制』と呼ばれる法律が施行されている国もあります。

この様な背景の中、世界保健機関が発表した世界的な統一基準であります改訂版国際疾病分類『ICD-11』の最終案にもスマートフォン等を使用したオンラインゲームのやり過ぎによって、日常生活に支障をきたすほどの過度にゲームに依存している状態を『ゲーム障害』として盛り込み、新たな疾病として国際的に位置づけられる見通しともなっています。

**私が一番の問題意識を持っているのは、ネット依存やゲーム障害は薬物やアルコール依存、ギャンブル依存などの様に法律で使用を規制されていたり、年齢制限がなされているものではなく、危険性を十分に理解できていない児童や生徒も依存症に陥る可能性がある点です。**

**又、我が国ではその対策も十分に確立されていない点も大きな課題であります。**



海外ではネット依存・ゲーム障害の早期対策に向けて前進  
に対する対策が進んでいます

質問

まず県内の中高生のネット依存・ゲーム障害に関する実態を調査して、現状を正しく把握することが不可欠です。今後の実態調査の取組み方針について教育長にお尋ねします。

答弁

県教育委員会では、毎年秋に県内の小学校から高校生まで、全ての公立学校の児童生徒を対象に、スマートフォンなどの所有率やオンラインゲームを含むインターネットの利用日数、時間、用途などに関する調査を実施しております。その結果1日あたり5時間以上使用する生徒も高校生で約15パーセントいる実態でした。

又、中・高校生では7割以上がオンラインゲームをしたことがあると答えており、インターネットなどの過剰利用による心身の健康への影響も懸念される事から、議員からご紹介のありました全国の調査を参考にし、今年からインターネットへの依存性を測る事ができる項目を追加し、実態把握に努めてまいります。

質問

ネット依存・ゲーム障害の影響は大きく今後の拡大も危惧される中、今後は対策のために体制を整えると共に、充実した治療や予防を推進していく必要があると考えます。ネット依存・ゲーム障害に対する対策について、今後どのように進めていかれるのか、健康福祉部長にお伺いします。

答弁

議員ご指摘の状況を踏まえれば、症状をお持ちの方をアルコールやギャンブルへの依存と同様に治療や支援などの適切な対応につないでいく事が重要になります。

このため、保健所や精神保健福祉センターでの相談の受付に加えて、医療機関受診者の状況把握に努めると共に、医療、行政機関等の関係者と適切な医療・支援方法について検討を進めてまいります。

質問

情報端末との付き合い方やのめり込んだ場合の危険性などを、学校で適切に指導していく必要があります。専門知識を持つ外部講師の活用も含めて、今後の教育現場におけるネット依存・ゲーム障害の対策はどのように実施していくのか、教育長にお伺いします。

答弁

インターネット依存が心身の健康に及ぼす影響について、中学校の『保健体育』や高校の『情報』の授業などで、症状の具体例をあげて指導しています。

又、専門家による講話を実施するなど、ネット依存などの危険性についても注意喚起してきました。一方で、全ての教員がネット依存などの実態や心身への影響について理解を深め、指導力を高められる様に研修を実施、今後も引き続き、児童生徒のインターネットの過剰利用による兆候を見逃す事なく、しっかりと対応していきます。

又、各家庭における保護者の協力も不可欠であり、インターネットの適切な利用に関するリーフレットを配布し、家庭内での意識を高めると共に、PTA活動などを通じて、家庭内のルールづくりを広めてまいります。